

2 高学年用「鑑真」 指導例

当時の朝廷から要請を受けて苦勞の末に唐から渡日し、戒律を伝えた奈良時代の名僧 鑑真を本資料では取り上げている。鑑真は、戒律のほか、薬草など当時の唐の多くの知識を日本に伝え、悲田院をつくって貧民救済にも力を尽くしており、その功績は広く知られている。鑑真建立の唐招提寺には国宝の鑑真和上坐像が所蔵されているが、鑑真の没後1250年に合わせ、常時公開できる模像「お身代わり像」が制作され、平成25年6月に唐招提寺において公開された。こうしたことも取り上げ、今も変わらない鑑真和上への人々の敬愛の念を考えさせたい。

学習展開においては、何度も渡日に挑戦し失敗したことや栄叡^{ようえい}の死、失明などの逆境にあるとき、またそれらを乗り越えたときの鑑真の心情に共感できるようにする。さらに、渡日した鑑真が、仏教の授戒について伝えただけでなく、民衆のために力を尽くしたことから、人々のために力を尽くそうとする鑑真の志に共感できるようにし、鑑真の不撓不屈の精神がどこからきているのかについて、ワークシートに書き込むことなどを通してじっくりと考えさせることが大切である。終末に「心のノート」（平成25年度版）を活用するなど、鑑真の生き方から自分なりに学びたいことを考えさせ、自分の目標をもち、それに向かって着実に進もうとする意欲を温められるようにしたい。

◆ **主題名** 決意をつらぬいて 指導内容 高1－(2)

資料名 鑑真 (奈良県郷土資料 県教育委員会)

◆ **ねらい**

度重なる苦難を乗り越えて渡日し、仏教の授戒をはじめ様々な知識を日本に伝えた鑑真について話し合うことを通して、自分の目標に向かってくじけず希望と勇気をもって取り組み、やり抜こうとする態度を育てる。

◆ **展開**

	学 習 活 動	主な発問と予想される児童の意識	指導上の留意点	備考
導 入	1、「お身代わり像」の写真を見て話し合う。	○ この像を知っていますか。 ・お坊さんだな。誰だろう。 ・まだ新しい像だな。 ・もっと古い鑑真の像を見たことがある。	・自由に話し合わせ、本時の資料への導入とする。	

